

◎北太平洋捕鯨規制協定

(略称) 一九七一年の北太平洋捕鯨規制協定

昭和四十五年十二月十六日 東京で署名
昭和四十五年十二月十六日 効力発生
昭和四十六年四月八日 告示

(外務省告示第六四号)

目次	ページ
前文	二九三
第一条 ひげ鯨の漁期	二九三
第二条 ひげ鯨の総捕獲頭数の配分	二九三
第三条 ながす鯨及びいわし鯨の捕獲枠	二九四
第四条 効力発生	二九四
第五条 協定の実施期間	二九四
末文	二九四

(訳文)

北太平洋捕鯨規制協定

前文

千九百四十六年十二月二日にワシントンで署名された国際捕鯨取締条約(以下「条約」という)の締約政府である日本国、ソヴィエト社会主義共和国連邦及びアメリカ合衆国の政府は、次のとおり協定した。

第一条

この協定の適用上、千九百七十一年における母船によるひげ鯨の捕獲のための漁期は、四月十五日から十月十五日までの期間とする。

第二条

条約に基づき千九百七十一年について認められた北太平洋及びその附属水域におけるひげ鯨の総捕獲頭数は、次のとおり署名政府の国の間に配分する。

(i) ながす鯨

日本国	五六八頭
ソヴィエト社会主義共和国連邦	七〇〇頭
アメリカ合衆国	四〇頭

一九七一年の北太平洋捕鯨規制協定

AGREEMENT ON THE REGULATION OF
NORTH PACIFIC WHALING

The Governments of Japan, of the Union of Soviet Socialist Republics, and of the United States of America, being parties to the International Convention for the Regulation of Whaling, signed at Washington on December 2nd, 1946, (hereafter referred to as "the Convention"):

Have agreed upon the following:

Article 1

For the purpose of this Agreement, the open season in 1971 for pelagic baleen whaling operations shall be the period from April 15 to October 15 both inclusive.

Article 2

The total catch of baleen whales authorized under the Convention to be taken in the North Pacific Ocean and dependent waters in 1971 shall be allocated among the countries of the Signatory Governments in the following manner:

(i) Fin Whales

Japan	568
Union of Soviet Socialist Republics	700
United States of America	40

一九七一年の北太平洋捕鯨規制協定

(ii) いわし鯨（にたり鯨を含む。）

日本国	三三三二頭
ソヴィエト社会主義共和国連邦	一五二七頭
アメリカ合衆国	五一頭

第三条

ながす鯨の捕獲^{わく}枠は、条約の附表 8 (b) に定義する方式により、いわし鯨（にたり鯨を含む。）に振りあてることができるものとし、いわし鯨（にたり鯨を含む。）の捕獲^{わく}枠も、同様に、ながす鯨に振りあてることができる。ただし、いずれの種族の総捕獲頭数も、各種族について前条に定める捕獲^{わく}枠を十パーセント上回る水準をこえてはならない。

第四条

この協定は、前文に掲げる政府によつて署名された日に効力を生ずる。

第五条

この協定は、千九百七十一年十二月三十一日まで実施する。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受け

(ii) Sei and Bryde's Whales combined

Japan	3132
Union of Soviet Socialist Republics	1527
United States of America	51

Article 3

The fin whale quota may be converted to sei and Bryde's whales combined, or vice-versa, in terms of the formula as defined in paragraph 8(b) of the Schedule to the Convention, provided that the total catch of one or the other species does not exceed the level which is 10 percent above the quota for each species as prescribed above.

Article 4

The present Agreement shall enter into force on the day upon which it is signed by the Governments referred to in the Preamble.

Article 5

The present Agreement shall be operative until December 31, 1971.

In witness whereof the undersigned, being duly authorized thereto by their respective

ながす鯨
及びいわし鯨の捕獲枠

効力発生

協定の実施期間

末文

て、この協定に署名した。

千九百七十年十二月十六日に東京で英語により本書一通を作成した。本書は、日本国政府に寄託する。日本国政府は、その認証謄本を他のすべての署名政府に送付する。

日本国政府のために

平原 毅

ソヴィエト社会主義共和国連邦政府のために

О・Троцкий

アメリカ合衆国政府のために

アーミン H・マイヤー

Governments, have signed the present Agreement.

Done at Tokyo the sixteenth day of December, 1970, in the English language in a single copy which shall be deposited in the archives of the Government of Japan. The Government of Japan shall transmit certified copies thereof to all other Signatory Governments.

For the Government of Japan:

(Signed) Tsuyoshi Hirahara

For the Government of the Union
of Soviet Socialist Republics:

(Signed) O. A. Troyanovsky

For the Government of the United
States of America:

(Signed) Armin H. Meyer

(参考)

この協定は、一九七〇年六月にロンドンで開催された国際捕鯨委員会において北太平洋捕鯨についても南氷洋捕鯨と同様に規制することになり千九百七十一年漁期の北太平洋におけるながす鯨の総捕獲頭数を千三百八頭、いわし鯨の総捕獲頭数を四千七百十頭とすることが決定され、ながす鯨については、日本五百六十八頭、ソ連七百頭及び米国四十頭、またいわし鯨については、日本三千百三十二頭、ソ連千五百二十七頭及び米国五十一頭に配分することに関係三国間で合意が成立し、作成されたものである。